

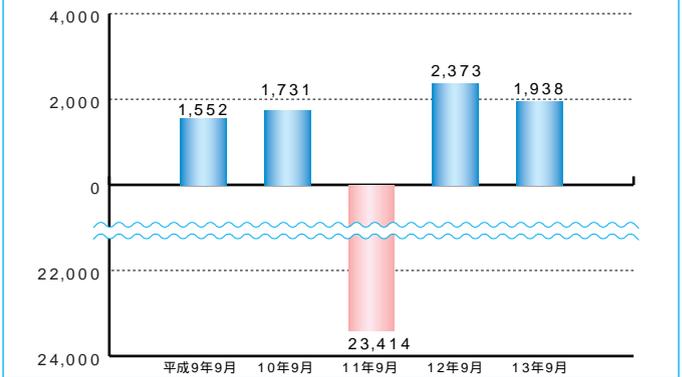
Q1. | 利益について教えてください

A. 中間利益は19億38百万円

平成13年9月期は、長引く景気低迷の影響および米国同時多発テロの影響などで株価が大幅に下落したことにより、当行が保有する上場株式や資金運用対象となっている投資信託について、14億円余の減損処理を実施したことから、経常利益は5億79百万円、中間利益は19億38百万円となりました。

当中間期の配当につきましては平成12年度末の15円に対して5円増額の20円といたします。

中間利益の推移(は中間損失) 単位：百万円



Q2. | 預金の状況について教えてください

A. 残高は順調に増加

預金面では、流動性預金、定期性預金ともに増加し、銀行勘定の中間期末残高は期中188億円増加して1兆2,310億円となりました。金銭信託は低金利の継続等の要因から期中183億円減少の1,282億円となりました。銀行・信託勘定合計残高では期中4億円増加して、1兆3,592億円となりました。

預金残高(未残)の推移 単位：億円



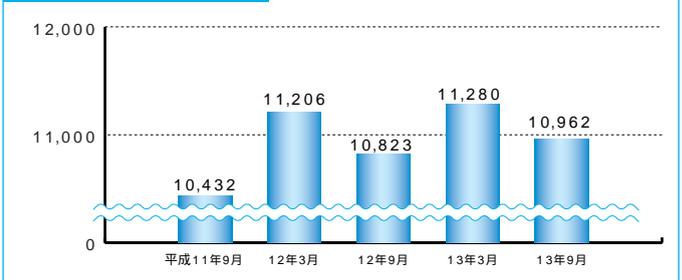
Q3. | 貸出金の状況について教えてください

A. 個人部門は好調に推移

貸出面では、個人部門は住宅ローンを中心に増加しましたが、景気低迷の長期化により資金需要が減少したことから法人部門が減少し、銀行勘定の中間期末残高は期中217億円減少して1兆99億円、信託貸付につきましては期中100億円減少して863億円となりました。銀行・信託勘定合計残高では期中317億円減少し、1兆962億円となりました。

貸出は年度下期に製糖業や地方公共団体を中心に資金需要が発生し、春から夏にかけてそれが返済されるとい季節パターンがあるため、平成13年3月末比では減少していますが、平成12年9月期と比較すると、139億円の増加となりました。

貸出残高(未残)の推移 単位：億円



Q4. | 個人ローンの状況について教えてください

A. 九州地方銀行で第1位の伸び率!

りゆうぎんでは、「ローンなりゆうぎん」というブランドイメージを前面に押し出し、積極的にローンを推進してきました。その結果、九州地方銀行平均の個人ローンの伸び率5.0%に対し、りゆうぎんは14.9%という高い伸び率となりました。

特に住宅ローンについては、平成11年10月に県内金融機関で初めて住宅ローンセンターを開業して以来、県内で最多の3か所の住宅ローンセンター(那覇・中部・牧港)を展開しています。残高につきましても「休日住宅ローン相談会」「金利優遇キャンペーン」等の実施および新商品「無担保住宅借換ローン」の開発に取り組んだことなどがお客さまの評価をいただき、伸び率が九州地方銀行中第1位、増加額で第2位の高い伸びを達成しました。

個人ローン残高(未残)の推移 単位：億円

